

日本学術会議・地球惑星科学委員会・地球惑星科学国際連携分科会  
SCOSTEP-STPP 小委員会(第 25 期・第 3 回)議事録

開催日時: 2021 年 11 月 10 日 13:00-14:00

開催場所: 名古屋市千種区不老町 名古屋大学宇宙地球環境研究所  
インターネット会議システム (zoom)

出席者: 石井守、上野悟、小原隆博、大村善治、河谷芳雄、草野完也、坂尾太郎、塩川和夫、高橋幸弘、  
田中良昌、寺田直樹、中村卓司、廣岡俊彦、増田智、松岡彩子、三好勉信、三好由純、村山泰啓、山本衛、  
吉川顕正、余田成男

欠席者: 佐藤薫、花岡庸一郎、星野真弘、渡辺真吾

オブザーバ: 家森俊彦、門倉昭、清水敏文、末松芳法、津田敏隆、徳丸宗利、中村正人、宗像一起、渡部重十

配布資料

資料1. 第 25 期 SCOSTEP-STPP 小委員会名簿

資料2. SCOSTEP-STPP 小委員会(第 25 期・第 2 回)議事録

資料3. 学術の動向 8 月号記事

資料4. 日本学術会議 加入国際学術団体に関する調査票の Web ページ、調査票、広報資料

資料5. SCOSTEP 及び PRESTO プログラム(2020-2024)の活動に関する情報交換

資料6. IYBSSD2022 の資料

議事次第

(1)学術の動向 8 月号記事の出版報告

塩川委員長から資料 3 に基づき、「学術の動向」8 月号に掲載された記事に関する報告が行われた。

(2)日本学術会議 加入国際学術団体に関する調査票の作成報告

塩川委員長から資料 4 に基づき、9 月末に学術会議に提出した加入国際学術団体に関する調査票に関する報告が行われた。中村委員からこの調査票が公開されるようになったのは、昨年からであるとの補足があった。

(3)SCOSTEP 及び PRESTO プログラム(2020-2024)の活動に関する情報交換

塩川委員長より、資料 5 に基づき、SCOSTEP の活動についての報告があった。報告中で紹介された SVS program に関連して、各機関での最近の外国人留学生の受け入れ動向に関する情報交換が行われた。

(4)その他 STPP 関係の活動に関する情報交換

- ・石井委員から ICAO に関しては、特別な動きは無いとの報告があった。また、UN/COPUOS では COSPAR, WMO/IPT-SWeISS と宇宙天気関係の活動を統合しようという動きがあるのと報告があった。
- ・塩川委員長から 11 月 2-3 日に SCOSTEP/ISWI International School on Space Science in India が開催されたとの報告があった。
- ・吉川副委員長から、来年、STPP 国際活動(海外フィールドワークなど)の 2 年間の活動を調査したいとの連絡があった。
- ・山本委員から 2022 年 9 月 12-16 日に京大で赤道の超高層大気に関する国際会議(16th International Symposium on Equatorial Aeronomy (ISEA-16))を開催予定であることが紹介された。
- ・三好副委員長から International Heliophysics Data Environment Alliance (IHDEA) の活動や国際会議に関する紹介が行われた。

(5)IYBSSD2022 に対する SCOSTEP-STPP 小委員会としての対応の議論

塩川委員長より資料 6 に基づき、IYBSSD についての説明があった。来年開催される SCOSTEP 主催の STP-15 もこの企画に連携している。日本学術会議でも、今後、これに連携して何らかの活動を行っていく。この報告に関して、IPCC との関係などについて、情報交換が行われた。

(6)学術会議の諸活動に関する情報交換

ISC の会長及び財務委員長に日本人研究者が着任することに関して、意見交換が行われた。

**(7) 太陽地球系物理学に関する国際活動の振興について**

山本委員から、9月に赤道大気レーダー20周年記念国際会議(オンライン)が、500名以上参加して開催されたという報告があった。

中村委員から、SCARの下での南極の大気重力波の研究グループであるANGWIN活動の報告があった。

**(8) 次回会合の予定**

塩川委員長から、次回会合を例年通りJpGUの時期(5月ごろ)に開催する提案があり、全会一致で承認された。

**(9) その他**

特に無し。

以上